

大阪 あちこち

●球葱栽培之祖碑と田尻歴史館

—大正の薫りと先人のこころざし—

田尻町では、“海と世界に拓くまち・たじり”を合言葉に、新しいまちづくりが進められています。そうした中、本町の歩みを振り返るとき、大正時代は明治時代の試行錯誤が実り、今日の町の礎を築いた時期といってよいでしょう。

本町の明治期は、輸入作物に圧倒され、農家は疲弊し、村の成り立ちも危ぶまれました。こうした中、藁をもすがる想いで商品作物としては未成熟であった玉葱栽培に取り組みました。これが功を奏し、以来産出量が増え、危機的状況を回避することができました。このことから玉葱栽培の功労者を讃えるため、農会によって泉州球葱栽培之祖碑が、大正2（1913）年に建立されました。



泉州球葱栽培之祖碑

また、明治期に広まった紡績業も町の発展の礎となりました。大正7年には当地出身の谷口房蔵氏により吉見紡織株式会社が設立され、工場を俯瞰するかのようには、洋館と和館が繋がった珍しい大正建築の谷口氏別邸が近接して建てられました。これが今の田尻歴史館（府指定有形文化財）です。



田尻歴史館

このように、大正期の本町は、道路整備はもとより、駅の誘致と鉄道の利用、港湾の整備と海運の利用などが積極的に行われ、タマネギ栽培と紡績業の隆盛を中心に、活気にあふれました。これら大正期の遺産は、先人たちが先取の気概をもって時代と切り結んだシンボルとなっています。

静かな旧街道筋には、大正の薫りが漂い、訪れるひとを過去へと誘ってくれます。ひととき、タイムトラベルしてみませんか。空港島を眼前にして、先人たちとの対話を楽しむことができます。



▼お問い合わせ先▼

田尻町教育委員会事務局学事課

TEL 072-466-8801

田尻歴史館

TEL 072-465-0045